

専門家が語る 横地城の重要性

国指定史跡・菊川城館遺跡群を構成する横地氏城館跡は、今川氏と対峙した国人領主・横地氏の拠点として、全国的にも高い歴史的価値を有する山城です。

近年は史跡内の樹木伐採により、城郭の立地や眺望の魅力が一層明確となり、来訪者からも高い評価を得ています。さらに、中の城における崩落防止工事を進めるとともに、赤色立体地図の整備によって曲輪や地形の特徴が視覚的に把握しやすくなりました。

今後は案内機能の充実を図りつつ、学術的価値と史跡としての魅力を広く伝えていくことが期待されます。

小和田 哲男さん

静岡大学名誉教授。大河ドラマの時代考証でも有名な今川氏研究の第一人者。菊川城館遺跡群整備委員会委員を務める。



◎今井一詞

地元住民が語る横地愛

小笠農業高校の教師として働き、結婚を機に横地へ移り住みました。転勤族の家庭で育ったので、同じ土地に根ざして歴史の中に暮らすことに喜びを感じています。

かつて忘れられた存在だった横地城。先人の調査を引き継ぐ形で保存活動に携わり、30年ほど経ちます。次の世代にこの歴史の重要性を伝えるため、今もさまざまな歴史書を読み解きながら探求を続けています。

地域住民の憩いの場として長く親しまれてきた横地城は、文化財保護と自然公園としての魅力のバランスが肝心。字名に残る先祖の息吹など、知れば知るほど奥深いこの地に眠る、さらなる歴史の可能性を信じています。

福井 淳一さん

横地城文化財保存会 会長
菊川城館遺跡群整備委員会 委員長



横地氏城館跡を未来に残すために

横地氏城館跡は、これまで地域住民に大切に守られてきました。一方で、過去の整備はその時々が必要に応じて行われてきた面もあり、全体としての計画性や統一性が十分ではありませんでした。例えば、解説板のデザインや掲載情報が統一されていないため、見学者にとって必要な情報がわかりにくいという課題がありました。

そこで、令和3年に「史跡菊川城館遺跡群整備基本構想」を、令和4年に「史跡菊川城館遺跡群整備基本計画」を策定。史跡の本質的価値を改めて整理し、何を守り、どう伝えるのかを明確にした

うえで、整備を計画的に進めることにしました。これにより、史跡の魅力を増やしながら、わかりやすく、安全に見学できる環境づくりが可能になります。

専門家と地域が支える史跡整備

横地氏城館跡は、菊川市が誇る貴重な文化財であるとともに、国民にとっても価値のある歴史遺産です。そのため、整備にあたっては、文化財や城郭研究の専門家、

地元の代表者などで構成される菊川城館遺跡群整備委員会が協議を重ねながら、慎重に進めています。時間はかかりますが、史跡の価値を正しく次の世代へ伝えるために必要な時間でもあります。

横地氏城館跡の歴史と魅力を未来へつないでいくために、これからも地域の皆さんとともに大切に守り、活かしていきます。



▲金玉落とし



▲千畳敷での花見

行事には、多くの子どもたちが参加し、会場は笑顔であふれます。また、花見会場となる千畳敷では、地域住民が校の下で食事を楽しみながら交流を深めます。横地城は、地域住民にとって歴史を感じる場であると同時に、地域の絆を育む場所でもあります。また、人と人の心をつなぎ、その価値を次の世代へ伝える役割を果たしているのです。